

## 全国家庭養護推進ネットワークとは

家庭養護とその関連分野の関係者相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、実効性のある施策について、志ある方々が、それぞれの主体間の垣根や主義主張の相違を超え、横断的に交流、討議するプラットフォームとして設立いたします。

### 共同代表



相澤 仁

大分大学  
福祉健康科学部  
教授



潮谷 義子

社会福祉法人恩賜財団済生会 会長  
社会福祉法人慈愛園 相談役  
前熊本県知事



柏女 霊峰

淑徳大学  
総合福祉学部  
教授

平成28年の児童福祉法改正において、我が国の社会的養護においても、里親委託をはじめとする「家庭養護」が原則とされ、さらに子どもたちのパーマネンシー保障という観点から特別養子縁組を推進する方向も明確に打ち出されました。

家庭養護を現場で実際に推進するためには、里親、ファミリーホーム、施設、児童相談所、民間養子縁組あっせん機関、フォスタリング機関、学会、行政、メディアなどの様々な関係者相互のネットワークを構築・強化するとともに、それぞれの現場で関係者が共通認識の下、密接に協力して具体的な対策に取り組むことが必要となります。また、今後は、障害児施策や子育て支援施策、母子保健施策、学校教育等の関連分野との連携と協働も、ますます重要性を増してきます。

このFLECフォーラムは、このような基本的認識の下に、平成31年2月に第1回を開催して以来、コロナ禍も乗り越えつつ、今回で5回目を迎えるに至りました。これもこのフォーラムを主催する「全国家庭養護推進ネットワーク」に設立発起人として集っていただいた各界各層の皆様、幹事や事務局としてフォーラムの運営に直接関わっていただいた皆様、そして何よりも各回にご参加いただいた参加者の皆様のご支援とご協力の賜物だと思い、感謝に堪えません。

現在、我が国の社会的養護においては、本年6月に成立し令和6年に施行を迎える改正児童福祉法の施行準備を厚生労働省が鋭意進めている状況にあり、また明年（令和5年）には子ども家庭庁が発足して社会的養護の所管もそこへ移されることとなります。

このような時期において開催する今回のFLECフォーラムにおいては「家庭養護の推進と子ども子育て支援施策の包括化に向けて」をメインテーマとしつつ、今回の児童福祉法改正や子ども家庭庁の発足を、どのようにして社会的養護を含めた子ども子育て施策全体の拡充に繋げていけばよいのか、行政や民間機関は人材育成をはじめとした様々な課題にどのように取り組んでいけばよいのか、を議論の中心においたプログラムを用意しました。また、クロージングシンポジウムでは、社会的養護と障害児者施策の現場での具体的連携について、掘り下げた議論が行われることを期待しています。

このネットワークとフォーラムが、わが国のすべての子どもたちの未来を切り拓く一助となることを切に願っております。